

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。6月に「平成29砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」を公表した（詳細は2018年8月号参照）。

平成29砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：193万6000トン（前回見通しから1000トン減）

総供給量：190万7000トン（同8万5000トン減）

【異性化糖】

消費量および供給量：82万9000トン（同5000トン増）

表1 平成29砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

		平成28砂糖年度 (実績)	平成29砂糖年度				合計	
			10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,893	500.0	430.8	477.0	492.3	1,900	
	含みつ糖	36	6.1	12.7	11.3	6.2	36	
	合計	1,929	506.1	443.5	488.3	498.5	1,936	
供給量	国内産糖	分みつ糖	678	354.7	347.1	81.9	-	784
		含みつ糖	10	1.2	7.6	1.5	-	10
		小計	688	355.9	354.7	83.4	-	794
	輸入糖	分みつ糖	1,191	336.9	172.7	353.2	240.1	1,103
		含みつ糖	10	1.7	4.2	3.1	0.9	10
		小計	1,201	338.6	176.9	356.3	241.0	1,113
	合計	分みつ糖	1,869	691.6	519.8	435.1	240.1	1,887
		含みつ糖	20	2.9	11.8	4.6	0.9	20
		小計	1,889	694.5	531.6	439.7	241.0	1,907
	期末在庫		272	464.8	533.3	507.4	249.9	250

資料：農林水産省「平成29砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 平成29砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	平成28砂糖年度 (実績)	平成29砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)	
消費量	832	171.7	184.2	249.5	223.5	829
供給量	832	171.7	184.2	249.5	223.5	829

資料：農林水産省「平成29砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 異性化糖の移出動向

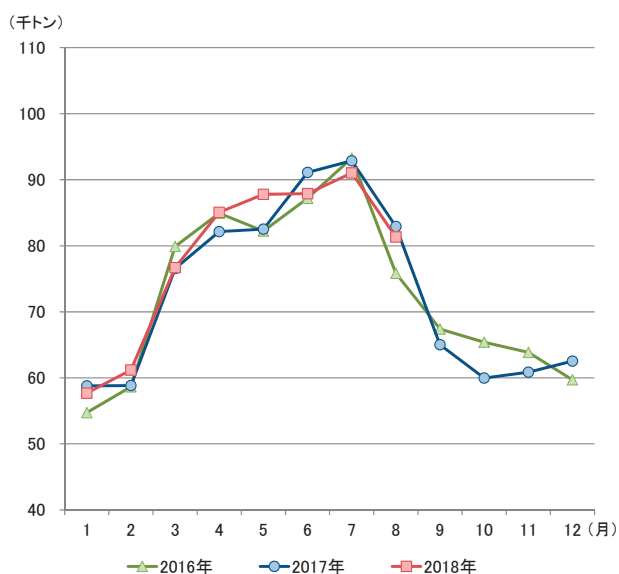
8月の移出数量は前年同月からわずかに減少

2018年8月の異性化糖の移出数量は、8万1339トン（前年同月比1.9%減、前月比10.6%減）であった（図1）。

8月の規格別の移出量は、次の通りであった（図2）。

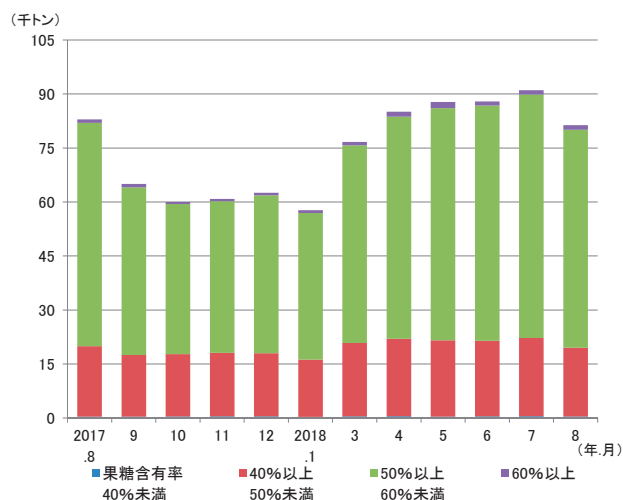
果糖含有率40%未満	396トン
（前年同月比5.0%増、前月比18.8%減）	
同40%以上50%未満	1万9153トン
（同2.0%減、同11.8%減）	
同50%以上60%未満	6万502トン
（同2.5%減、同10.5%減）	
同60%以上	1288トン
（同37.0%増、同6.3%増）	

図1 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図2 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

3. 輸入動向

【分みつ糖の輸入動向】

7月の輸入量は前年同月からやや減少

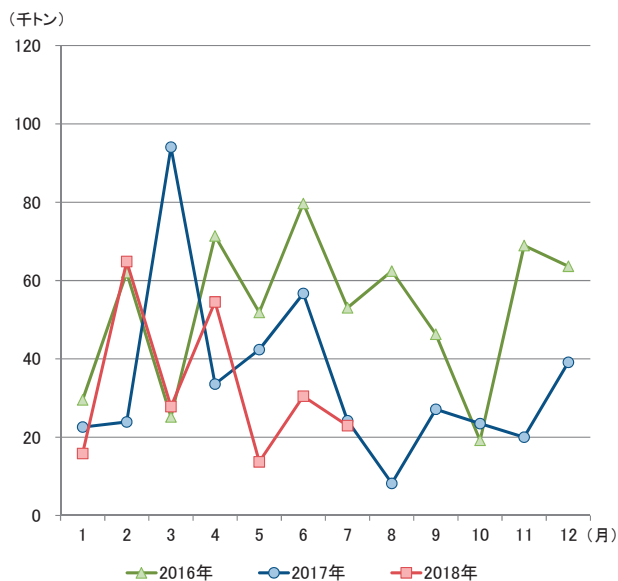
財務省「貿易統計」によると、2018年7月の分みつ糖（HSコード 1701.14-110）の輸入量は、2万2956トン（前年同月比5.1%減、前月比24.6%減）であった（図3）。

輸入先国はタイで、輸入量は次の通りであった（図4）。

タイ	2万2956トン
（前年同月比5.1%減、前月比24.5%減）	

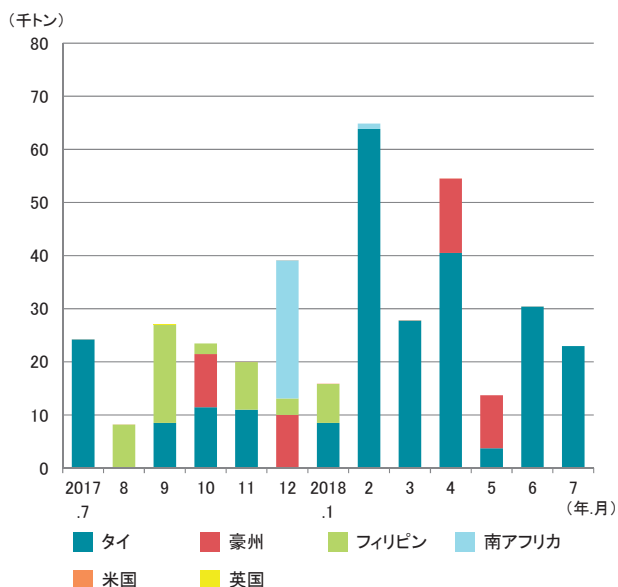
また、同月における豪州からの高糖度原料糖（糖度98.5度以上99.3度未満、HSコード1701.14-200）の輸入量は、11万9529トン（前年同月比2.0倍、前月比2.2倍）であった。

図3 分みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

図4 分みつ糖の国別輸入量の推移



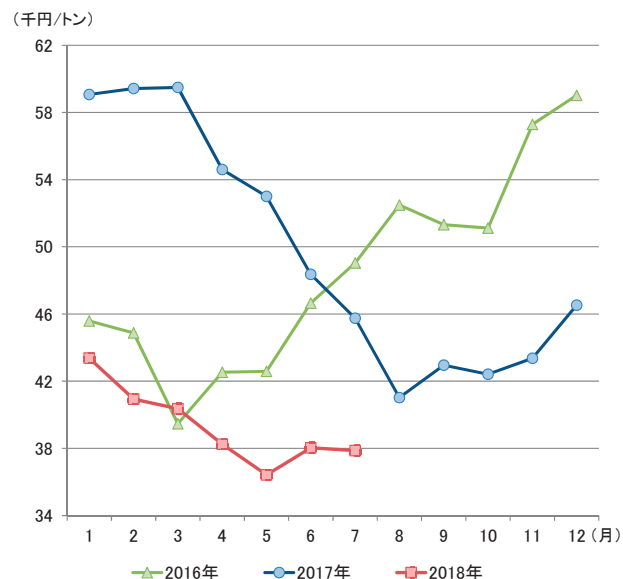
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

2018年7月の1トン当たりの輸入価格は、3万7867円（前年同月比17.2%安、前月比0.4%安）であった（図5）。

タイ 3万7867円
（前年同月比17.1%安、前月比0.3%安）

また、同月における豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、3万7788円（前年同月比14.2%安、前月比3.0%安）であった。

図5 分みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110

【含みつ糖の輸入動向】

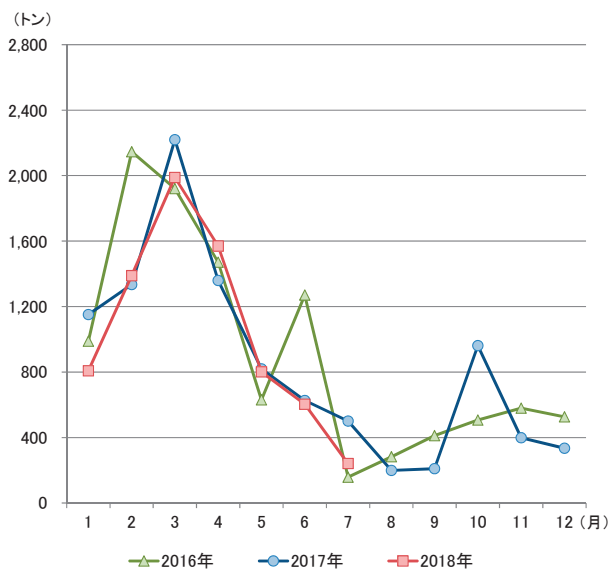
7月の輸入量は前年同月および前月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2018年7月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、241トン（前年同月比51.9%減、前月比60.1%減）であった（図6）。

輸入先国は中国、フィリピンおよびタイの3カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図7）。

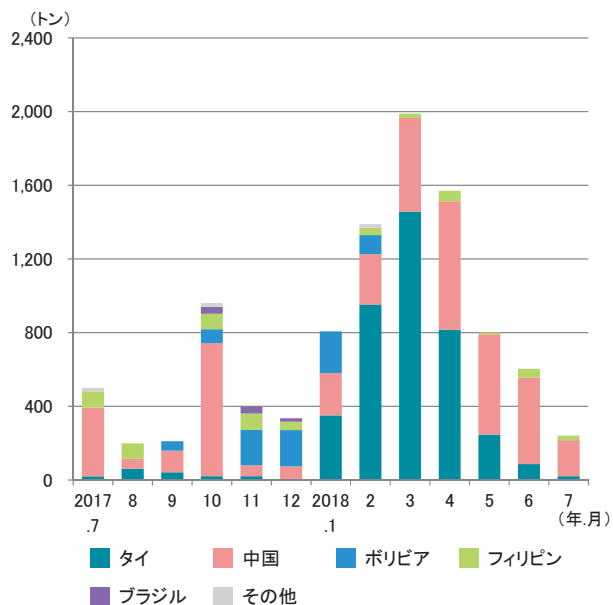
中国	195トン
	（前年同月比47.7%減、前月比58.4%減）
フィリピン	25トン
	（同71.6%減、同49.0%減）
タイ	21トン
	（同5.0%増、同75.6%減）

図6 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図7 含みつ糖の国別輸入量の推移



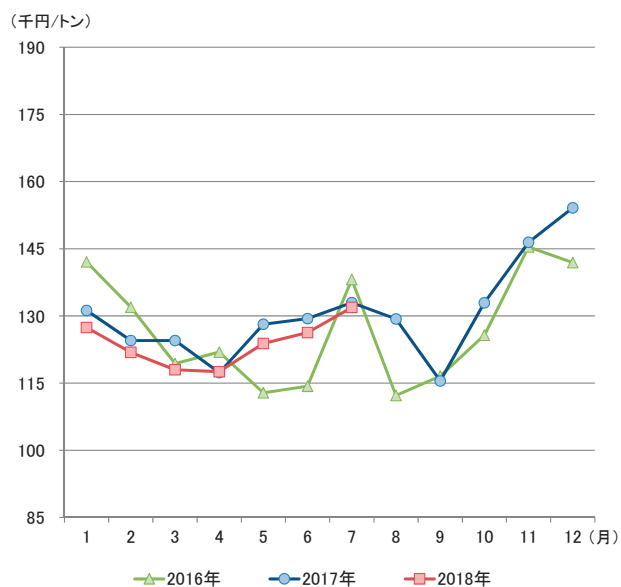
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2018年7月の1トン当たりの輸入価格は、13万1888円（前年同月比0.8%安、前月比4.4%高）であった（図8）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国	12万5549円
	（前年同月比1.9%安、前月比2.8%安）
フィリピン	21万1560円
	（同44.3%高、同65.3%高）
タイ	9万5905円
	（同16.8%安、同12.6%安）

図8 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

【加糖調製品の輸入動向】

7月の加糖調製品の輸入量は前年同月からやや増加

財務省「貿易統計」によると、2018年7月の加糖調製品の輸入量は、4万8290トン（前年同月比5.6%増、前月比10.5%増）であった（図9）。

品目別の輸入量は、次の通りであった（表3）。

図9 加糖調製品の品目別輸入数量の推移

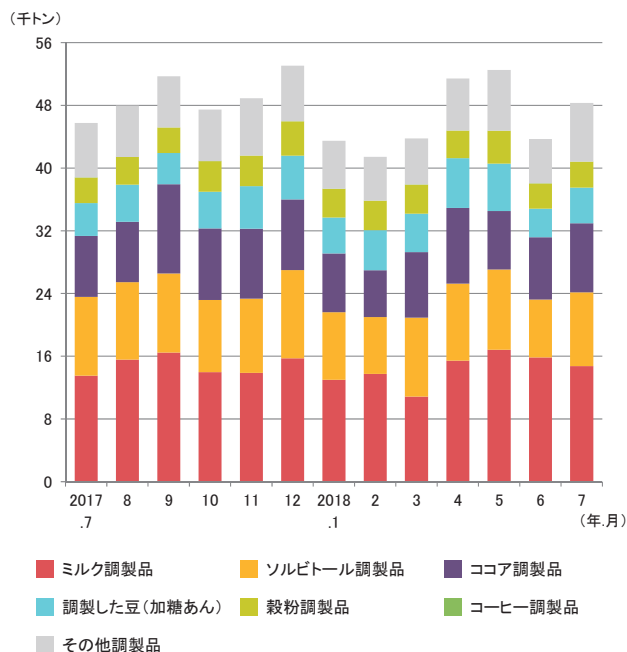


表3 加糖調製品の品目別輸入数量（7月）

区分	輸入量 (トン)	前年同月比 (%)	前月比 (%)
ミルク調製品	14,743	9.0	▲ 7.0
ソルビトール調製品	9,417	▲ 6.3	27.9
ココア調製品	8,792	13.3	10.5
調製した豆（加糖あん）	4,560	8.5	25.2
穀粉調製品	3,300	1.5	2.9
コーヒー調製品	22	44.8	5.6
その他調製品	7,455	7.4	32.0

資料：財務省「貿易統計」

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

8月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり187～188円
大阪 同187～188円
名古屋 同191円
関門 同191円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり199～202円
大阪 同202円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり192～193円
大阪 同192～193円
名古屋 同196円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり187～188円
大阪 同187～188円
名古屋 同189円

8月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり131～132円

果糖分55%もの

同137～138円

【小売価格】

8月上白糖小袋の地域間の価格差は最大で19.7円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける8月上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、191.7円（前年同月差1.1円安、前月差0.2円安）であった。

同月の地域別^{（注）}の平均小売価格は次の通りで

あった（表4）。

表4 上白糖の地域別平均小売価格（8月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	200.6	5.4	▲ 0.1
東北	197.1	▲ 0.6	▲ 4.0
関東など	183.4	1.5	▲ 0.3
首都圏	186.1	▲ 5.7	0.5
中部	182.1	▲ 1.1	▲ 0.5
関西	194.2	0.9	1.1
中国・四国	201.8	▲ 6.9	2.4
九州・沖縄	198.0	5.5	▲ 2.5
全平均	191.7	▲ 1.1	▲ 0.2

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

最も高かったのは中国・四国で、最も安かった中部との価格差は19.7円であった。

（注）地域の内訳は次の通りである。以下、グラニュー糖および三温糖も同じである。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

8月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で76.0円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける8月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、243.1円（前年同月差0.5円安、前月差0.7円安）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった（表5）。

表5 グラニュー糖の地域別平均小売価格（8月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	199.8	▲ 1.8	▲ 4.2
東北	275.8	▲ 0.8	0.6
関東など	249.0	▲ 2.5	▲ 1.3
首都圏	250.2	0.1	0.5
中部	250.9	▲ 0.8	▲ 0.2
関西	229.1	▲ 0.8	0.1
中国・四国	253.2	0.4	▲ 1.4
九州・沖縄	227.8	5.1	0.0
全平均	243.1	▲ 0.5	▲ 0.7

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は76.0円であった。

8月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で43.3円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける8月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、235.3円（前年同月差0.3円高、前月と同水準）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった（表6）。

表6 三温糖の地域別平均小売価格（8月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	232.4	▲ 3.8	▲ 8.0
東北	257.6	▲ 5.3	4.2
関東など	245.2	1.3	1.4
首都圏	231.2	0.6	▲ 1.7
中部	228.5	1.3	▲ 0.9
関西	229.4	2.3	1.2
中国・四国	249.1	0.9	4.3
九州・沖縄	214.3	3.5	0.0
全平均	235.3	0.3	0.0

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

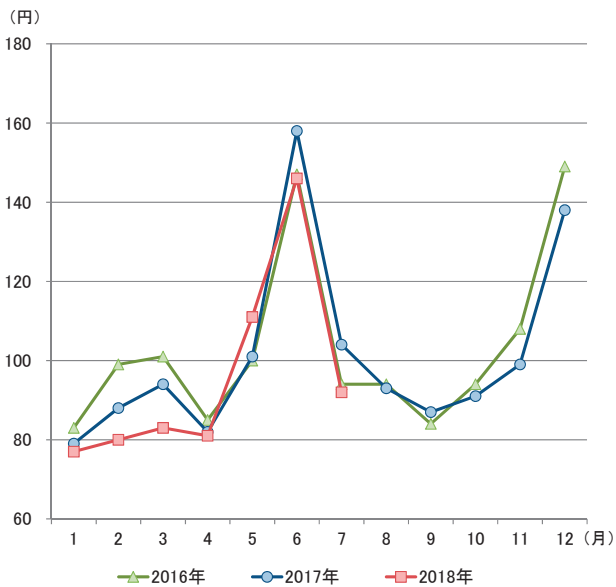
最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は43.3円であった。

【購入金額および購入量】

7月の砂糖の支出金額は前年同月からかなり下落

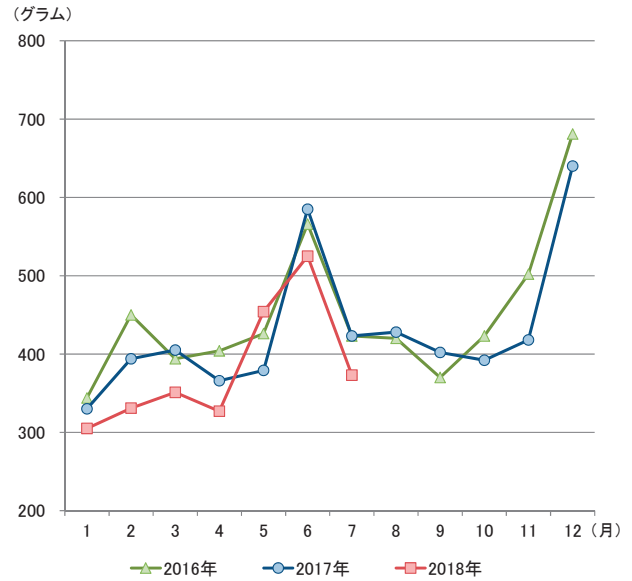
総務省「家計調査」によると、2018年7月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は35で、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は、92円（前年同月比11.5%安、前月比37.0%安）であった（図10）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、373グラム（同11.8%減、同29.0%減）であった（図11）。

図10 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図11 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」